

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■活動報告

2023年度登録者数について

2023年度の登録者数についてお知らせいたします。23年度から登録システムを刷新し、また22年12月8日に行った登録会員規程の改定の内容（小学生区分の新設など）も反映しました。

迷惑撮影対策に関するヒアリング調査結果の報告

日本陸上競技連盟では、アスリートが安心して競技に取り組めるより良い環境づくりを目指し、迷惑撮影対策に関する実態調査を2024年3月に実施しました。本報告では、調査結果の自由記述の回答を中心に報告します。

■東京2025世界陸上ファンID登録のご案内

■大会観戦ガイド

令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

秩父宮賜杯第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

第59回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会

■事務局からのお知らせ

ボランティア情報～陸上の大会・イベントを支える皆さまへ

ウェルビーイング リーフレット掲載：アスリートの健康を守ろう！

能登半島地震による被災地・被災者への義援金募集再開について

information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・WRK対象競技会／広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2025年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



2023年度登録者数について

●2023年度の登録者数と傾向

2023年度の登録者数について表1に示した。23年度から登録システムを刷新し、22年12月8日に行った登録会員規程の改定の内容（小学生区分の新設など）も反映した。前年対比では、増加部分としては、新設した小学生区分が28,940名、大学生が19,500名（+583名）であったが、一般76,305名（-7,676名）、高校生96,698名（-2,247名）、中学生193,597名（-6,172名）は減少していた。トータルとしては415,040名（+13,428名）であった。

一般区分の減少に関しては、22年度までは中高生の二重登録（23年度では3,462名）を含めていたことと、小学生も一般の区分として登録していたことも主たる要因であるが、コロナ禍で市民マラソンプールが下火になってきていることも影響していると考えている。

高校生区分、中学生区分の減少に関しては、コロナ禍で競技会が開催できなかった影響で、入学時に陸上部に入部した生徒の減少の影響と合わせて、少子化の影響が徐々に現れてきたと考えている。図1に2000年以降の高校生人口と高校生登録者数の推移を示した。上段に示したように、2020年はコロナ禍で大きく減少していることがわかるが、2007年以

降増加傾向にあったものが、2014年以降頭打ちになり、2019年ごろから減少傾向になっていることがわかる。高校生人口は2000年の410万人超から2010年代に約330万人に減少し、2022年から300万人を下回っている。下段には高校生人口に対する高校生登録者の割合を示した。2000年ごろは約2.4%であったものが増加傾向となり、3.4%程度まで増加し横ばいとなっている。コロナ禍の影響が出て若干減少しているが、依然として3.2%程度を保っており、陸上部に入る生徒の割合が大きく減少している訳ではない（つまり100人の高校生のうち約3人が陸上部）。

●JAAFVISION2017達成に向けて

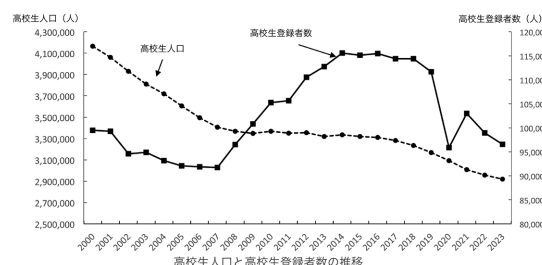
JAAFVISION2017および、JAAF REFORMでアスレチックファミリーの拡大とその他のためのファミリーサービスの提供を目指している。具体的には「陸上」に参加した人の活動履歴を生涯にわたって残していくシステムの開発を目指しており、今回の登録システムの刷新はその第一歩と位置づけている。生涯にわたって履歴を残していくためには、今年度登録料を支払った（有料）登録会員だけでなく、前年度以前に登録していた会員の情報や、何らかのサービスを得るためにJAAFIDを取得した人（学校の顧問の先生や、チームの管理者なども含む）の情報も将来にわたって残していくことになる。これを無料会員と定義すると、その数は約13万3千人で、（有料の）登録会員と合わせると2023年2月末時点のアスレチックファミリーは548,484人ということになる。

1993年からの推移を図2に示した。JAAFVISION2017で示した、2028年の目標「アスレチックファミリー150万人」を目指して、基盤となるシステムの構築、サービスの目玉となる記録サービスの提供の開発を推進していく。

表1 2023年度日本陸上競技連盟登録者数

	一般	中学生二重登録	高校	中学	小学生	大学	合計
北海道	2,429	93	3,567	5,264	222		11,575
青森	1,021	21	1,244	3,326	969		6,581
岩手	1,280	42	1,357	2,977	251		5,907
宮城	1,722	39	2,173	3,384	505		7,823
秋田	791	0	1,122	1,894	326		4,133
山形	1,093	19	1,255	1,847	320		4,534
福島	940	0	1,687	2,500	792		5,919
茨城	1,576	151	2,160	3,473	565		7,925
栃木	781	45	1,308	3,214	523		5,871
群馬	947	0	1,405	3,529	285		6,166
埼玉	2,694	96	5,186	11,449	669		20,094
千葉	2,914	54	4,644	11,422	1,131		20,165
東京	9,697	188	7,289	13,318	957		31,449
神奈川	4,401	316	5,032	14,231	1,072		25,052
山梨	964	62	872	1,169	624		3,691
新潟	1,539	116	2,133	5,458	1,519		10,765
富山	826	19	1,040	1,622	523		4,030
石川	1,006	38	1,083	1,664	262		4,053
福井	555	32	772	1,294	801		3,454
長野	1,519	104	1,465	2,943	824		6,855
静岡	2,030	343	3,589	6,730	624		13,316
愛知	3,718	244	6,178	10,034	544		20,718
岐阜	976	41	1,671	3,112	748		6,548
三重	833	98	1,762	3,332	2,230		8,255
滋賀	922	26	1,510	3,035	731		6,224
京都	1,756	49	2,196	4,807	447		9,255
大阪	4,548	122	5,337	12,347	373		22,727
兵庫	2,619	27	4,885	9,760	611		17,902
奈良	584	4	1,110	1,917	261		3,876
和歌山	617	19	733	1,725	204		3,298
鳥取	543	6	580	955	264		2,348
島根	837	0	704	1,796	83		3,420
岡山	1,326	64	1,415	2,827	294		5,926
広島	1,556	123	2,316	5,280	419		9,694
山口	1,283	28	1,387	2,010	841		5,549
徳島	747	1	537	1,249	483		3,017
香川	699	17	853	1,374	571		3,514
愛媛	1,247	83	1,128	1,871	256		4,585
高知	663	3	533	1,211	846		3,256
福岡	2,670	291	3,918	8,489	873		16,241
佐賀	776	17	996	1,632	467		3,888
長崎	906	23	1,590	2,184	470		5,173
熊本	1,067	126	1,410	2,844	581		6,028
大分	1,145	34	752	1,607	424		3,962
宮崎	1,135	72	938	1,799	957		4,901
鹿児島	1,583	131	1,267	2,195	872		6,048
沖縄	818	35	609	1,497	326		3,285
学連在外	6					19,500	19,500
2022年度数	83,981		98,945	199,769	28,940	18,917	401,612
差異	-7,676		-2,247	-6,172	28,940	583	13,428

* 2023年度合計数には中学生二重登録数を足していません。
* 2022年度までは最終日での数を表示していましたが、2023年度は会員の支払いに基づく数を表示しています。



高校生人口と高校生登録者数の推移

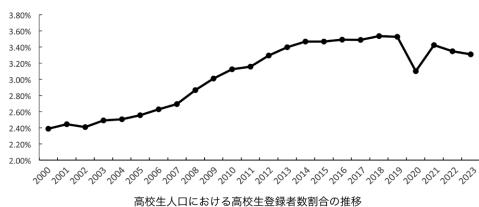


図1 高校生人口と登録者数の推移

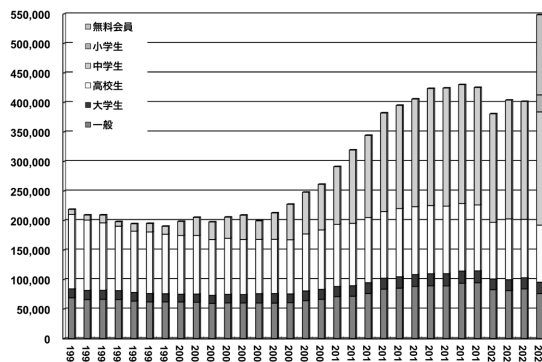


図2 登録人数推移表

迷惑撮影対策に関するヒアリング調査結果の報告

山元康平（日本陸上競技連盟 指導者養成委員）

日本陸上競技連盟（以下、日本陸連）では、アスリートが安心して競技に取り組めるより良い環境づくりを目指し、迷惑撮影対策（※1）に関する実態調査を2024年3月に実施した。今回の調査は、前回の調査（2021年1月実施）から一定期間が経ち、更には感染症対策等による活動の制約が解放されるなど社会的変化が生じた今、迷惑撮影に関する実態がどのような状況かを知ることを目的に指導者を対象として行った。本報告では、調査結果の自由記述の回答を中心に報告する。

※1 迷惑撮影とは

被写体に了解を得ずひそかに撮影を行うこと（隠し撮り）のみならず、高性能カメラを使用して性的目的の撮影をすることを指す。

【調査概要】

本調査は日本陸連公認コーチ資格の有資格者（公認スタートコーチ、公認ジュニアコーチ、公認コーチ）を対象に、2024年3月に実施した。回答数は555（男性481、女性69、無回答4）であった。回答者のうち13.5%が迷惑撮影の被害経験があった。

【自身のチームの選手が被害にあわないために意識していることや心掛けていること】

48%が「ある」と回答し、「ユニフォームやウェアの対策」が最も多かった（約40%）。また、「選手や保護者への注意喚起」「不審者への警戒」に関する回答も多かった（約30%）。練習等の競技会以外の場面では、「1人で行動させない」といった行動に関する注意や、「更衣室を利用させる」「更衣用テントを使用する」といった更衣に関する注意、「部外者を立ち入らせない」といった回答がみられた。

【選手のSNSやチームのホームページへの画像掲載について注意をしていること】

44%が「ある」と回答し、画像の選定や加工（個人を特定できないようにする、画質を落とす、モザイク等）、本人や保護者に確認や同意書を求めるといった回答や、そもそもSNSやホームページを利用しない、画像を掲載しない、公開範囲をチーム内のみなどに限定しているという回答も少なくなかった（それぞれ約30%）。

【迷惑撮影対策について競技運営側に求めること】

「競技会における撮影や公開のルールの明確化」（約40%）および「競技会における巡回や取り締まりの強化」（約30%）に関する回答が多かった。「ルールの明確化」について、ルールの厳格化を求める意見が多い一方で、指導者や保護者の撮影に配慮を求める意見も少なくなかった。また、「取り締まりの強化」について、巡回の強化や警察との連携を求める意見が多かったが、人手不足や経費の問題、迷惑撮影の判断基準等の具体的な問題に関する意見もみら

れた。さらに、「注意喚起や通報フォーム等による観客との連携」「実際の被害状況や問題となる場面に関する情報共有」といった観客等が協力できる環境の構築に関する意見や「公式の配信の映像にも配慮が必要な場面がある」等の指摘もみられた。

【調査結果】

今回の調査から、迷惑撮影等に関する指導者や運営が実際に感じている問題や対策の実態について示すことができた。今後は、指導者、アスリート、競技会運営および日本陸連が相互に協力し、陸上界全体のより良い環境づくりに向けて協力して組んでいくことが必要であると考えられる。

本報告を踏まえ、日本陸連指導者養成委員会では、指導者が感じている課題に寄り添い、アスリートのみならず、指導者にとっても安全・安心な環境を作っていけるようサポートをしていきたい。

表 指導者が迷惑撮影や画像掲載に対して意識していることや運営側に求めること

自身のチームの選手が被害にあわないために意識していることや心掛けていること
「セパレート型ユニフォームを廃止した」「透けにくいユニフォームやウェアを使用する」「下着の色に配慮する」「競技後すぐにTシャツ等を着用しユニフォームで移動しない」「選手や保護者への注意喚起」「不審者への警戒」
選手のSNSやチームのHPへの画像掲載について注意をしていること
「個人が特定できない画像の使用（顔を出さない、遠くからの画像、氏名や学校名を消す）」「女子選手や肌の露出が多い画像は掲載しない」「画質を落としたりモザイク処理する」「本人や保護者に確認や同意書を求めるといった回答」「そもそもSNSやHPを利用しない、画像を掲載しない、公開範囲をチーム内のみなど限定」
迷惑撮影対策について競技運営側に求めること
「競技会における撮影の禁止や許可制」「インターネット上の公開のルールの明確化や法整備」「マージャー等の巡回を担当する審判の増員や巡回の強化」「警察との連携」「注意喚起や通報フォーム等による観客との連携」「実際の被害状況や問題となる場面に関する情報共有」「保護者の記録やコーチングの資料のために撮影は必要であるため全ての撮影を制限することは好ましくない」「陸上競技の発展のためにも撮影は一般ファンの権利」「人手不足で審判員の増員は困難」「増員のための経費の支援が必要」「関係者の撮影と迷惑撮影を判別することが困難」「主催者や警察が厳正に対処してくれないことがあった」「公式の配信の映像にも配慮が必要な場面がある」

〈陸上安全ナビ公開のお知らせ〉

すべての人がすべてのライフステージにおいて、スポーツを楽しめるように、練習環境、迷惑撮影、ハラスメント、アンチドーピング等の「安全・安心」に関する情報を掲載しています。

陸上安全ナビ 検索



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 2025

東京2025世界陸上

日程 | 2025 9.13^{SAT} - 9.21^{SUN}

会場 | 国立競技場 JAPAN NATIONAL STADIUM

チケット購入は、

まず **ID登録を!**

Guarantee priority access to tickets
Register now!

二次元コードを
読み込んで
登録しよう



陸上競技の最高峰を東京で!

自己の限界に挑戦するアスリートの姿を通じて、
人々の記憶に残る感動・興奮を届け、
世界中の人々に東京の魅力を伝えていきます!

開催頻度

2年ごと

1991年東京大会までは4年ごと
現在は2年ごとに

過去の開催数

19回

2025年東京大会は
20回目の開催

今まで開催された国

16か国

2025年東京大会は日本で
3回目の開催(東京は2回目)

参加国・地域

約210 国・地域

参加選手

約2,000 名

種目数

49 種目

公益財団法人東京2025世界陸上組織
The Local Organising Committee of World Athletics Championships Tokyo 25

大会観戦ガイド

令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

- ▼期日：令和6年7月28日（日）～8月1日（木）
- ▼場所：東平尾公園博多の森陸上競技場
〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-2
TEL 092-611-1515
- ▼アクセス：市営地下鉄「福岡空港駅」下車。4番出口バス停「福岡空港前」から《3番系統・イオンモール福岡系統》
陸上競技場、補助競技場：「博多の森競技場前」バス停下車。徒歩約2分
- ▼競技種目：（男子 21種目）100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mハードル（1.067m）・400mハードル（0.914m）・3000m障害物・5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投（6.000kg）・円盤投（1.750kg）・ハンマー投（6.000kg）・やり投（800g）・八種競技
（女子 20種目）100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mハードル（0.838m）・400mハードル（0.762m）・5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投（4.000kg）・円盤投（1.000kg）・ハンマー投（4.000kg）・やり投（600g）・七種競技
- ▼問合せ先：令和6年度全国高等学校総合体育大会 福岡県実行委員会事務局 陸上競技担当
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎4階 TEL：092-641-5660 FAX：092-641-5661 E-mail fukuoka2024tf@outlook.jp
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1865/>

第59回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会

- ▼期日：2024年8月13日（火）～15日（木）
- ▼場所：駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1
- ▼アクセス：東急田園都市線「駒沢大学駅」下車、「公園口」の出口を出て、自由通りを南へ直進、「駒沢公園東口」から入場する場合。陸上競技場（サービスセンター）まで、約15分。
- ▼競技種目：（1）男子の部（15種目）100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・400mH・3000mSC・4×100mR・4×400mR・走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投
（2）女子の部（11種目）100m・200m・400m・800m・3000m・100mH・4×100mR・走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投
- ▼問合せ先：全国高等学校定通制陸上競技大会事務局
〒125-0051 東京都葛飾区新宿3丁目14番1号
東京都立葛飾商業高等学校内 事務局長 益本光章
事務局携帯電話 070-6458-2364
※問い合わせは、必ず各都道府県の責任者が行ってください。
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1867/>



写真：フォート・キシモト



事務局からのお知らせ

◆◆ボランティア情報～陸上の大会・イベントを支える皆さまへ～◆◆

陸上の大会・イベントを支えてくださるボランティアの皆様へ、ボランティア募集に関する情報のほか、活動レポートやQ&Aなどボランティアに関わる様々な情報を掲載しています。選手が活躍する舞台、ファンの皆さんが楽しむ特別な一日を、私たちと一緒にサポートをしてみませんか？一人一人の思いやりの心、温かな笑顔、サポートの力が、陸上界の明るい未来へとつながります！

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/19558/>



◆◆ウェルビーイングリーフレット掲載：アスリートの健康を守ろう！◆◆

日本陸連が掲げる「国際競技力の向上」「ウェルネス陸上の実現」のため、アスリートとアスリートを取り巻くすべての人（アントラージュ）に向けた取り組みが必要であると考え、有森副会長はじめ、科学委員会・医事委員会・アスリート委員会の3つの専門委員会が協力してリーフレットを作成しました。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/20088/>



◆◆能登半島地震による被災地・被災者への義援金募集再開について◆◆

日本陸上競技連盟では、陸上界として被災地および被災された方々の支援、災害対応や復興のお役に立てるよう、本年1月23日～3月31日に実施した義援金の募集を再開いたします。

皆様からお寄せいただきました義援金は、日本赤十字社に「令和6年能登半島地震災害義援金」として寄付します。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/20155/>



JAAF
Japan Association of Athletics Federations

日本陸上競技連盟

**能登半島地震
被災地・被災者への
義援金の募集について**

受付期間

2024年6月17日(月)～2025年3月31日(月)

陸連時報編集委員

◇編集委員

尾縣 貢（陸連会長）
有森 裕子（陸連副会長）
風間 明（陸連副会長）
室城 信之（陸連副会長）
田崎 博道（陸連専務理事）
山崎 一彦（陸連強化委員長）
鈴木 英穂（陸連事務局長）
石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

石井 朗生
◇時報編集担当
日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL：050-1746-8410
FAX：050-3588-1869